OR(論理和)		
機械語	ニーモニック	機能
<del>1921/12 р.</del> В7	OR A	AとAのビットごとの論理和をとる
	OR B	AとBのビットごとの論理和をとる
B0	OR C	AとCのビットごとの論理和をとる
Bl	OR D	AとDのビットごとの論理和をとる
B2	OR B	AとEのビットごとの論理和をとる
B3	ORH	AとHのビットごとの論理和をとる
B4 B5	ORL	AとLのビットごとの論理和をとる
	OR D	A と n のビットごとの論理和をとる
F6 n	OKII	OUT(出力)
の大性ないのよう。このサオス		
D3 n	OUT (n), A	RET(戻る)
	DET	サブルーティンから戻る
C9	RET C	桁上げ桁下げフラグが立っているときサブルーティンから戻る
D8	RET NC	析上げ桁下げフラグが立っていないときサブルーティンから戻る
D0		旬の数フラグが立っているときサブルーティンから戻る
F8	RET M	正の数フラグが立っているときサブルーティンから戻る
F0	RET P	偶数フラグが立っているときサブルーティンから戻る
E8	RET PE	奇数フラグが立っているときサブルーティンから戻る
E0	RET PO	ゼロフラグが立っているときサブルーティンから戻る
C8	RET Z	ゼロフラグが立っていないときサブルーティンから戻る
C0	RET NZ	
RLCA(左ビットシフト)   07 RLCA A の内容を左にシフトする		
07	RLCA	
RRCA(右ビットシフト)		
0F	RRCA	A の内容を右にシフトする
SUB(減算)		
97	SUB A	A から A を引く
90	SUB B	AからBを引く
91	SUB C	A から C を引く
92	SUB D	A から D を引く
93	SUB E	AからEを引く
94	SUB H	A から H を引く
95	SUB L	AからLを引く
D6 n	SUB n	A から n を引く
XOR(排他的論理和)		
AF	XOR A	AとAのビットごとの排他的論理和をとる
A8	XOR B	A と B のビットごとの排他的論理和をとる
A9	XOR C	A と C のビットごとの排他的論理和をとる
AA	XOR D	A と D のビットごとの排他的論理和をとる
AB	XOR E	A と E のビットごとの排他的論理和をとる
AC	XOR H	AとHのビットごとの排他的論理和をとる
AD	XOR L	A と L のビットごとの排他的論理和をとる
EE n	XOR n	Aとnのビットごとの排他的論理和をとる